

R6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	秀峰会	代表者	櫻井 大	法人・事業所の特徴	ご利用者一人ひとりが自分の生活を維持し、地域で長く過ごせるような環境作りをお手伝いできるように職員全員で取り組んでいる。 生活リハビリにも力を入れ、看護師による個別機能訓練なども積極的に行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 こでまり（保土ヶ谷区）	管理者	平塚 亮		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	1人	人	1人	1人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員が自施設がどのような取り組みを行っているのかを理解できる機会を報告ではなく参加という形で作る。(地域交流・運営推進会議・その他対外的な活動)	職員参加を図りつつ積極的取り組みは行えたが、自身が行っている活動がどのようなものであるかという認識の乏しさが目立った。	2カ月に1回の会議で取り組み姿勢は理解できた。 レクを頻繁に行っているので、日々の取り組みの中で周知・理解は得られているように感じられる。	年1回の内部評価だけではなく、定期的に振り返りを行い目標達成に向けた職員間の話し合いを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	BCP策定に伴い、必要な訓練を適切に実施してゆく。 安全面・衛生面における環境の見直しは継続的に実施。	BCP 訓練はロールプレイ・卓上訓練等多様に実施し、消防・地域住民・系列事業所職員など多くの参加のもと十全に行えた。	開けた環境になってきているように感じられる(事業所的・地域的に) 清潔にされており、飾りつけなどもきれいにしつらえられている。	衛生的かつ明るく開けた事業所運営を維持・向上してゆく。 (通常清掃とは別に重点的な清掃作業(屋内外)やカーテンやドアによる閉塞的な環境としないなど。)
C. 事業所と地域のかかわり	ケアプラザへ、小規模多機能施設を知って頂くきっかけとなるような講座を相談し、可能であれば実施してゆく。 地域のボランティア団体(個人含む)との交流を図り受け入れを積極的に図る。	定期的な地域健康教室の実施ができ、多くの方々に活動を知っていただく機会とできた。また、個人や近隣学生のボランティアもコンスタントに受け入れでき良い交流の場とできた。	総体的に良く取り組まれており、健康教室棟は継続的にお願いしたい。 ただし、地域の行事への参加は今少し協力いただきたい。	ボランティア受け入れ、地域行事への参加を積極的に行う。 (地域ケアプラザへの仲介依頼や自治会からの情報収集を積極的に。)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	次年度は、利用者様の参加を試し利用者意見を頂ける体制を目指す。	アンケートを取りながら利用者意見を反映しながら取り組めた。	夏祭りなど可能な範囲で参加されたり、積極的に外に出る取り組みは良かった。 詳細は分からなくても、そこに介護施設があるという認識は持っている住民が多いと思う	能力別に分けた積極的外出レクリエーションの開催を行う。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>提案頂いた取組の実施を目指す が具体的に誰がどのような流れ で進めてゆくか未定。 上記確定までは、推進会議内 での継続と定着を目指す。</p>	<p>他事業所職員の参加は体制を整 えることができた。利用者参加も 行えはしたが、回数的には非常に 乏しいものであった。</p>	<p>利用者の参加を目標にあげられ ていたが、疲れてしまわないか 心配。 推進会議への参加は自分たちに とってもプラスとなっている。 共有程度は行えているが、事例検 討としてしっかりとした取り組 みは行えていない。 必要であれば地域ケア会議とし て取り上げることも可能なので 相談欲しい。</p>	<p>利用者家族・本人の会議参加率 向上を目指す。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>年度内の協定締結を目標とし、そ のうえで消防訓練等の自治会参加 が可能であるか相談。具体的なプ ラン策定に努める。</p>	<p>適宜話題には上がっていたが、正 式な相談・案内は行えていなかっ た。また消防訓練には地域民の参 加頂けたが、逆に事業所側からの 参加は行えていなかった。</p>	<p>夜間がどうしているのかが特に わからない。 (訓練参加は日中を想定したも のが多かったため。) 自治会の防災訓練には昨年は参 加できていたが、今年はできてい なかった。</p>	<p>より密接な連携体制を結ぶた め、昨年度締結できなかった防 災協定締結を目指すとともに、 訓練参加を相互に働きかける。 その際に事業所 BCP の概要を案 内し、事業所の取り組みへの理 解を賜る。</p>